

1. 気象経過

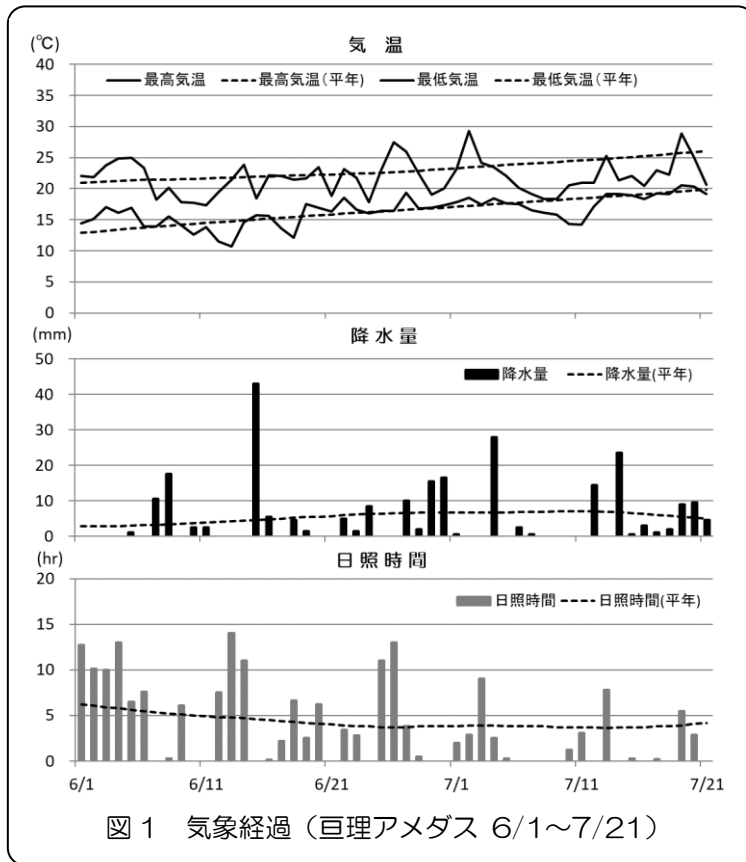


表1 旬別気象データ (亘理アメダス)

	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(時間)	
	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
6月 月上旬	17.9	0.6	31.5	110%	66.3	117%
中旬	17.6	-0.6	57.0	119%	50.1	104%
下旬	19.3	0.2	59.0	88%	34.5	93%
7月 月上旬	19.3	-1.2	31.5	50%	17.9	46%
中旬	20.5	-1.2	63.0	97%	19.8	54%

- ・6月7日の梅雨入り以降は、曇りや雨天の日が多くなりました。気温は低く推移し、日照時間も少なくなりました。
- ・今後も、週間天気予報や2週間気温予報を活用して、適切な水管理ができるよう留意しましょう。

2. 生育概況

(1) 移植栽培

品種	調査地点	田植月日 (前年差)	栽植密度 (株/㎡)		7月10日調査					7月20日調査(7/19)					
					草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)	
1 ひとめぼれ	名取市 愛島	5月18日 (3日早)	18.1	本年値	53.9	447	10.9	44.4	1.0	61.6	429	11.7	40.9	6.9	
				平年比・差	90%	90%	-0.2	5.3	-2.1	88%	96%	-0.6	3.1	-29.6	
				前年比・差	87%	101%	0.3	3.9	-0.5	83%	115%	-0.5	5.3	-22.9	
2 ひとめぼれ	岩沼市 押分	5月15日 (7日遅)	17.2	本年値	59.6	464	10.6	40.2	0.1	66.5	435	11.5	41.7	3.3	
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	98%	106%	-0.4	-3.3	-1.1	86%	116%	-0.7	6.7	-75.7	
3 ひとめぼれ	亘理町 逢隈	5月6日 (2日遅)	18.6	本年値	64.0	625	11.0	37.9	1.3	71.3	567	11.7	35.6	17.2	
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	91%	107%	0.1	-0.1	-0.5	84%	116%	-0.3	1.7	-129	
4 ひとめぼれ	山元町 坂元	5月18日 (4日早)	16.5	本年値	65.7	517	10.4	43.2	0.6	74.1	518	11.1	44.3	6.7	
				平年比・差	109%	99%	-0.3	2.2	0.0	104%	104%	-0.7	5.2	-14.3	
				前年比・差	98%	108%	-0.5	1.7	-0.2	98%	112%	-1.1	8.1	-7.1	
5 だて正夢	亘理町 逢隈	5月11日 (7日遅)	18.7	本年値	64.8	524	10.8	43.0	0.9	71.3	460	11.6	41.0	11.2	
				平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				前年比・差	89%	110%	0.1	3	-0.8	84%	115%	-0.4	6.1	-108	

※平年値は過去5か年(H26~30年)の平均値を使用。調査ほ場が変わっている場合は、平年値を示していません。

- ・7月上旬以降の低温寡照傾向により、葉齢進展が鈍化傾向となり、葉数は平年をやや下回っています。また、葉色値は平年よりも上回っています。
- ・いずれのほ場でも、7月中旬頃に幼穂形成期を迎えています。

(2) 直播栽培

品種	調査地点	播種月日	播種様式	7月10日調査					7月20日調査(7/19)				
				草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (GM値)	幼穂長 (mm)
1 ひとめぼれ	岩沼市 押分	4月9日	乾田直播 条播	46.2	685	10.0	37.6	0.1	54.7	601	10.8	33.2	2.5
2 ササニシキ	名取市 杉ヶ袋	4月23日	乾田直播 条播	50.1	558	9.5	38.3	-	59.0	512	10.5	35.8	0.8
3 げんきまる	山元町 浅生原	4月16日	乾田直播 条播	48.9	365	9.4	37.0	-	60.4	386	10.3	35.4	2.0

- 移植に比べて 7~10 日遅れの生育となっており、7 月下旬に幼穂形成期を迎えています。

直播のツボ③ 直播栽培で注意すべき害虫について

- 直播栽培では、移植栽培とは生育時期や薬剤施用方法が異なるため、害虫の発生傾向に違いがあります。ほ場をよく観察し、害虫が多発した場合は防除を検討しましょう。（下図はいずれも 出典：県病害虫防除所）

○初期害虫（イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、イネヒメハモグリバエ）

- 移植栽培では育苗箱施用剤により防除されています。直播栽培での防除方法には、種子塗抹処理剤（キラップシード FS）や、発生後の茎葉処理剤等があります。



<イネドロオイムシ(幼虫, 蛹, 食害痕)>

- 白いかすり状の食害痕
- 幼虫、成虫ともに葉を食害
- 幼虫は泥のかたまり状の、排泄物を背負っている
- 生育の遅れや茎数の減少、穂数の減少を招く



<イネミズゾウムシ(成虫)>

- 線状の細長い、断続的な食害痕（成虫）
- 幼虫は土中で根を食害するひどい場合は分げつを抑制



<イネヒメハモグリバエ(被害葉)>

- 幼虫が葉身に食入、白い筋状の食害痕
- 成虫は水面スレスレを飛行、または歩行し、水面に垂れて接した葉に産卵する
- 被害が大きいと枯死する

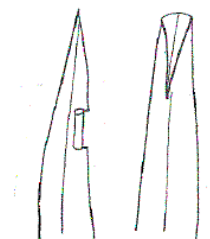
○イネツトムシ（イチモンジセセリ）（8月上旬頃から第2世代による被害が大きくなる）

- 葉色の濃い部分に産卵することが多く、通常の移植栽培に比べて生育が遅れる、晩期栽培や直播栽培で問題となります。



<イネツトムシ(幼虫)>

- 初期は葉の先を小さく綴る
- 生育が進むと、数枚の葉を寄せ集め、円筒状に綴る
- 上位葉の被害で、登熟の阻害や、葉が綴られ、穂が折損し減収
- 成虫は茶褐色の小さなチョウ



<若齢幼虫が形成するツト>

3. 今後の管理

(1) 水管理

- 穂ばらみ期から出穂・開花期前後は、水の吸収量が最も多い時期です。この頃に水分が不足すると、幼穂の発育や開花受精が妨げられて収量・品質に影響します。出穂期は「浅水管理」とし、その後は田面の水を切らさないように「間断かん水」や「飽水管理」を行いましょ。
- * 間断かん水：田面に水をいれた状態と落水した状態を数日おきに繰り返す管理
- * 飽水管理：田面の足跡に水がなくなったら入水し、表土が湿ったら落水する管理

(2) 病虫害防除

①いもち病

- 宮城県病虫害防除所のデータ（7月22日現在）では、いもち病の感染好適条件が直近では7月15,17,19日に名取・亶理地域で出現しています。こまめにほ場を観察し、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょ。
- * **葉いもち**：病斑が見られたら、ただちに茎葉散布剤を施用ましょ。特に上位葉（止葉、次葉等）に病斑が見られる場合、穂いもちに移行する恐れがあるので、防除を徹底ましょ。
- * **穂いもち**：穂いもちは発病してからの防除では効果が劣ります。茎葉散布剤の場合は、出穂直前に1回目、穂揃期に2回目の散布を実施ましょ。葉いもちが多く見られる等の場合は、3回目を2回目の7～10日後に実施ましょ。



<いもち病 進行型病斑>



<停滞型病斑> (出典：県病虫害防除所)

②斑点米カメムシ類対策（雑草防除）

- 水田周辺の草刈りは、出穂 10 日前までに終えましょ。それ以降の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込むことになるので避けましょ。
- 薬剤防除は、穂揃期とその 7～10 日後の 2 回防除が基本です。本田内にイヌホタルイやノビエが発生している場合は、1 回目の薬剤散布を「出穂始～穂揃期」に早めましょ。

(3) 追肥

- ほ場をよく観察し、葉色が淡いほ場では、出穂 7～10 日前までに追肥を実施し葉色の維持に努めましょ。穂揃期の葉色維持は、登熟や玄米充実度の向上につながります。

表 2 減数分裂期の葉色および追肥の目安

品種名	減数分裂期(幼穂長3～12cm)		
	カラー スケール (群落)	葉緑素計値	施肥量 (窒素成分量)
ひとめぼれ	3.9～4.2	35～37	1kg/10a
ササニシキ	3.4～3.7	32～34	1～1.5kg/10a
つや姫 まなむすめ	—	—	—
だて正夢	* 下記の「だて正夢」の栽培管理をご覧下さい		

第4回 『だて正夢』の栽培管理

- ◆ 「だて正夢」としての品質基準をクリアするためには、丁寧な栽培管理が必要です。栽培管理のポイントを再度確認し、高品質・良食味を目指しましょう！

1. 追肥

- ・ 減数分裂期に N2kg/10a が基本です。
- ・ 幼穂形成期に N1kg/10a 追肥を実施した場合は、減数分裂期に N1kg/10a 追肥を行ってください。

幼穂形成期 追肥	減数分裂期(幼穂長3~12cm)		
	施肥量 (窒素分量)	カラー スケール (群落)	葉緑素計値
追肥あり	2.0kg/10a	3.9~4.2	35~37
追肥なし	1.0kg/10a		

＜生育ステージと生育量の目安＞（令和元年度版）

	幼穂形成期 7月15日頃	減数分裂期 7月25日頃	出穂期 8月10日頃
草丈(cm)	64~70	76~82	—
莖数・穂数(本/㎡)	390~460	380~420	350~400
葉色(SPAD値)	40~42	37~39	35~37
主莖葉数(葉)	10.0~10.8	11.4~12.2	12.5~13.0

※訂正：前回稲作情報では、平成30年度版の目安を示しておりました。
令和元年度版では上記数値が生育量の目安となります。

第3回 『だて正夢』を知ろう！

みやぎ米の『4本柱』について

- ・ 近年、消費者の嗜好が多様化しています。県では、食卓シーンに合わせてお米の銘柄を選んでいただくため、『お米は食べわかる時代。だから、みやぎ米』をキャッチフレーズに、4つの品種をラインナップしてお米選びを提案しています。

食卓 シーン	和食ならではの 繊細なあじわいを 楽しむ食卓。	毎日のおいしい しあわせを つなぐ食卓。	ゆったりと。 贅沢な時間を 味わう食卓。	手軽においしく。 健康を無理なく 叶える食卓。
	ササニシキ	ひとめぼれ	だて正夢	金のいぶき
銘柄			 だて正夢	
特徴	和食の風味を 最大限に引き出す、 やさしく上品な味わい。	毎日の食卓を支える 万能で、飽きない おいしさ。	みやぎ米の夢を かなえた、 これぞ天下をとる旨さ。	宮城の風土が生んだ、 輝く玄米。 手軽に炊けて、 「金」のおいしさ。

農薬危害防止運動実施中（令和元年6月1日～8月31日）

『使用前には必ずラベルで 作物名・使用方法を確認！！』